

インドネシアの新しい港の開発と運営を支援 ～神戸港や大阪港の開発や運営のノウハウを活かす～

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）の事業を通じて、インドネシアでは近年の急激な経済成長に伴う取扱貨物量増加の一方で、港湾の容量不足による物流停滞が懸念されています。この解消のため、同国の港湾管理者が神戸港や大阪港を訪れます。港湾の開発や管理運営についての講義や現場視察を通じて学んだことを、日本が建設を支援する新しい港づくりに活かし、物流機能の強化と更なる経済発展を目指します。

インドネシアでは、近年の急激な経済成長に伴う取扱貨物量増加の一方で、港湾の容量不足による物流停滞が懸念されています。特に GDP 約3割を占めるジャカルタ首都圏での物流量増加が著しく、既存の港のコンテナ蔵置や物流用後背地のスペースが不足していることに加え、慢性的な交通渋滞対策として貨物交通量の分散も必要です。

このため、インドネシア政府はジャカルタの東へ百数十 km 離れた西ジャワ州のパティンバンに、コンテナターミナル等を有し後背地開発やアクセス道路整備も考慮に入れた新しい港の建設事業を2017年から開始しています。このプロジェクトには、日本国政府や JICA も資金面、技術面等から支援を行ってきており、その一環として今回の視察や講義も実施されます。

開港から150年を超え、日本の代表的な港である神戸港や大阪港には、その長い歴史の中で、管理運営手法だけでなくアクセス道路や後背地も含めた開発についても様々な技術やノウハウの蓄積があります。これらを講義だけではなく、現地・現場にも赴いて学ぶことは、インドネシアからの研修員にとって多くの学びが期待され、ひいてはインドネシアの発展と日本との関係強化にも寄与するものと期待します。

つきましては、以下の視察・見学における取材をご検討ください。

<日程>

- ① 6/18(水) 14:00～17:00 (株)上組(上組神戸コンテナターミナル)、
(株)タダノ(タダノ・グローバルパーツセンター)
- ② 6/19(木) 10:30～12:00 夢洲コンテナターミナル

- 言語：インドネシア語（日本語通訳あり）
- お申込み：準備の都合上、6月16日（月）16:00までに下記にご連絡下さい。

本件に関する
問い合わせ先

JICA 関西 研修業務課 仁志
TEL: 078-261-0386 Nishi.Tsukasa@jica.go.jp